

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-304040

(43)Date of publication of application : 13.11.1998

(51)Int. Cl.

H04M 1/27

H04M 1/00

H04M 11/00

(21)Application number : 09-109652

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 25.04.1997

(72)Inventor : IIMURA TOSHIAKI

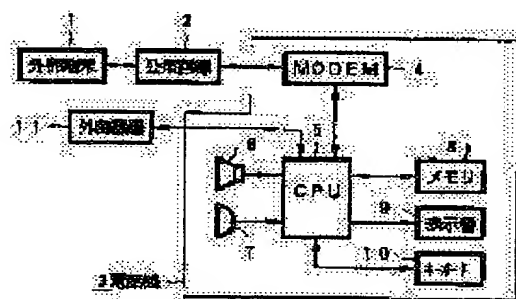
(54) STORING METHOD FOR INFORMATION DATA ON TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To store data such as telephone number data or data for external device control to a memory relating to a telephone set easily in a short time by demodulating modulated information data from an external terminal equipment and storing the demodulated information data to the memory relating to the telephone set.

SOLUTION: Modulated voice data resulting from modulating information data are given to a telephone set 3 via a public line 2 from an external terminal 1, the modulated information data are demodulated by a MODEM 4, from which the information data are obtained and stored in a RAM of a memory 8 via a CPU 5. Then telephone number data or control data stored in the memory 8 are read under the control of the CPU 5 by operating an abbreviated dialing button, a one-touch dialing button, an electronic telephone directory dialing button or an external device control button or the like, and a phone call is automatically made or the external device control data are read from the memory 8 under the control of the CPU 5, and the CPU 5 controls an external device 11 based on the read control data.

BEST AVAILABLE COPY



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-304040

(43) 公開日 平成10年(1998)11月13日

(51) Int.Cl.⁹
H 0 4 M 1/27
1/00
11/00
識別記号
3 0 2

F I
H 0 4 M 1/27
1/00
11/00
R
3 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-109652

(22) 出願日 平成9年(1997)4月25日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 飯村 俊昭

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
ー株式会 社内

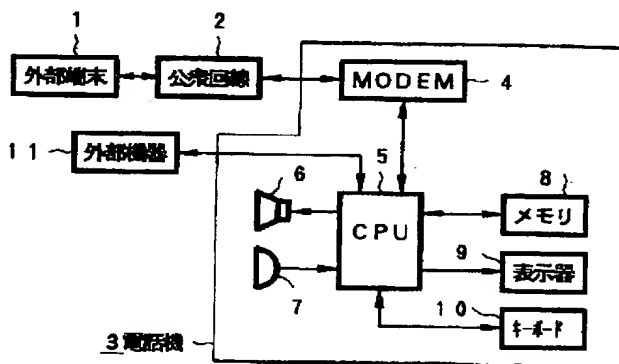
(74) 代理人 弁理士 松隈 秀盛

(54) 【発明の名称】 電話機に対する情報データの記憶方法

(57) 【要約】

【課題】 短縮ダイヤル用電話番号、ワンタッチダイヤル用電話番号、電子電話帳登録用電話番号や外部機器を制御する制御データ等を、容易且つ短時間に電話機に関連するメモリに記憶することのできる電話機に対する情報データの記憶方法を得る。

【解決手段】 外部端末1からの被変調情報データを、電話機3の復調手段4に供給して復調し、その復調手段4からの情報データを電話機3に関連する記憶手段8に記憶する。



情報データの記憶方法を適用した装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 外部端末からの被変調情報データを、電話機の復調手段に供給して復調し、該復調手段からの情報データを上記電話機に関連する記憶手段に記憶することを特徴とする電話機に対する情報データの記憶方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の電話機に対する情報データの記憶方法において、上記記憶手段に記憶する情報データは、電話番号データであることを特徴とする電話機に対する情報データの記憶方法。

【請求項 3】 請求項 1 に記載の電話機に対する情報データの記憶方法において、上記記憶手段に記憶する情報データは、外部機器を制御する制御データであることを特徴とする電話機に対する情報データの記憶方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話機に対する情報データの記憶方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の多機能電話機はメモリを備えており、そのメモリに短縮ダイヤル用電話番号、ワンタッチダイヤル用電話番号、電子電話帳登録用電話番号等の電話番号データを記憶させ得るようになっている。

【0003】又、かかる多機能電話機には、外部端末からその電話機に電話を掛けることによって、ダイヤルパルス信号やダイヤルトーン信号を利用して、その電話機の近傍にある外部機器を遠隔操作し得るようにしたものもある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】電話機のメモリに、短縮ダイヤル用電話番号、ワンタッチダイヤル用電話番号、電子電話帳登録用電話番号等の電話番号データを記憶するのは、限られた操作釦の操作及び表示器の監視によって行うので、操作が面倒だったり、人によってはうまく操作できない場合がままあった。

【0005】又、外部端末から電話機に電話を掛けることによって、ダイヤルパルス信号やダイヤルトーン信号を利用して、その電話機の近傍にある外部機器を遠隔操作するために、制御データ（コマンドデータ）を電話機のメモリに記憶する場合も、操作が面倒だったり、人によってはうまく操作できない場合がままあった。又、この場合には、遠隔操作の種類が少なかったり、セキュリティが十分でない等の問題もあった。

【0006】かかる点に鑑み、本発明は、短縮ダイヤル用電話番号、ワンタッチダイヤル用電話番号、電子電話帳登録用電話番号等の電話番号データや外部機器を制御する制御データ等を、容易且つ短時間に電話機に関連するメモリに記憶することのできる電話機に対する情報データの記憶方法を提案しようとするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明による電話機に対する情報データの記憶方法は、外部端末からの被変調情報データを、電話機の復調手段に供給して復調し、その復調手段からの情報データを電話機に関連する記憶手段に記憶するようにしたものである。

【0008】かかる本発明によれば、外部端末からの被変調情報データを、電話機の復調手段に供給して復調し、その復調手段からの情報データを電話機に関連する記憶手段に記憶する。

【0009】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の電話機に対する情報データの記憶方法を適用した装置を詳細に説明する。先ず、図 1 の装置を説明する。先ず、電話機 3 の構成を説明する。CPU（中央処理装置）5 に、モデム 4、スピーカ（受話器）6、マイク（送話器）7、メモリ 8、液晶表示装置等かなる表示器 9、キーボード 10 等が接続されて構成される。メモリ 8 は ROM 及び RAM から構成され、ROM 8 には、電話機の機能のプログラムが記憶されている。

【0010】モデム 4 は公衆回線（有線回線又は無線回線を含む）2 に接続される。外部端末 1 は、公衆回線 2 を通じて電話機 3 と接続され得る電話機、パーソナルコンピュータ等の任意の 1 つである。

【0011】11 は外部機器で、それぞれ磁気テープ、光ディスク等を記録媒体とする映像記録再生装置、音声記録再生装置、電子炊飯器、電子風呂釜、空調機等で、電話機 3 の CPU 5 によって、記録、タイマー記録、動作開始、タイマー動作開始等が制御される。

【0012】キーボード 10 は、テンキー、* キー、# キー、短縮ダイヤル設定釦及び短縮ダイヤル釦、ワンタッチダイヤル設定釦及びワンタッチダイヤル釦、電子電話帳登録用釦及び電子電話帳ダイヤル釦、外部機器制御用設定釦及び外部機器制御釦等を備えている。

【0013】短縮ダイヤル用電話番号、ワンタッチダイヤル用電話番号、電子電話帳登録用電話番号等の電話番号データ及びその電話番号種別データ、外部機器制御データ（外部機器記録開始制御データ、外部機器記録開始時刻データ、外部機器記録終了時刻データ、外部機器記録時間データ、外部機器レベル設定データ、外部機器動作開始制御データ、外部機器動作開始時刻データ、外部機器動作終了時刻データ、外部機器動作時間データ、外部機器レベル設定データ等）（外部機器制御コマンドデータ）等の情報データを変調して得た被変調情報データを、被変調音声データとして、外部端末 1 から公衆回線 2 を通じて電話機 3 に供給し、その被変調情報データをモデム 4 によって復調して情報データを得て、CPU 5 を通じてメモリ 8 の RAM に記憶する。

【0014】尚、短縮ダイヤル設定釦、ワンタッチダイヤル設定釦、電子電話帳登録用釦、外部機器制御用設定

釦を用いた短縮ダイヤル電話番号、ワンタッチダイヤル電話番号、電子電話帳登録用電話番号、外部機器制御データの設定も可能である。

【0015】短縮ダイヤル釦、ワンタッチダイヤル釦、電子電話帳ダイヤル釦、外部機器制御釦等を操作すれば、CPU 5の制御によって、メモリ 8に記憶されている電話番号データや制御データが読み出されて、CPU 5の制御によって、電話が自動的に掛けられたり、外部機器制御データがメモリ 8から読み出されて、その読み出された制御データに基づいて、CPU 5が外部機器 11を制御する。

【0016】尚、図2に示す如く、外部端末 1からの被変調情報データを、構内回線 12を通じて、電話機 3に供給するようにしても良い。又、図3に示す如く、外部端末 1からの被変調情報データを、伝送線（有線又は無線伝送路）を通じて、直接電話機 3に供給するようにしても良い。

【0017】又、メモリ（記憶手段）8は電話機 3に内蔵しているものでも、CPU 5に接続し得る外部メモリ（外部記憶手段）であっても良い。

【0018】更に、外部端末 1からの被変調情報データは、メモリ 8に既に記憶されている情報データを消去する消去指令データであっても良い。

【0019】更に、メモリ 8に記憶する情報データは、メッセージ（文字、映像等）のデータでも良く、このデータは表示器 9に表示される。

【0020】更に、所望の情報データの電話機 3のメモリ 8に対する記憶の依頼を、郵便、FAX、電話等でサ

ービスプロバイダに申し込み、そのサービスプロバイダが、被変調情報データを作成して、電話機 3のメモリ 8に記憶するようにしても良い。

【0021】

【発明の効果】上述せる本発明によれば、電話機に対する情報データの記憶方法は、外部端末からの被変調情報データを、電話機の復調手段に供給して復調し、その復調手段からの情報データを電話機に関連する記憶手段に記憶するようにしたので、短縮ダイヤル用電話番号、ワンタッチダイヤル用電話番号、電子電話帳登録用電話番号等の電話番号データや外部機器を制御する制御データ等を、容易且つ短時間に電話機に関連するメモリに記憶することのできる電話機に対する情報データの記憶方法を得ることができる。

【0022】かかる被変調情報データは、多種類のもの、複雑なものが可能である。

【0023】かかる被変調情報データを暗号化することによって、セキュリティを確保することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電話機に対する情報データの記憶方法を適用した装置の一例を示すブロック線図である。

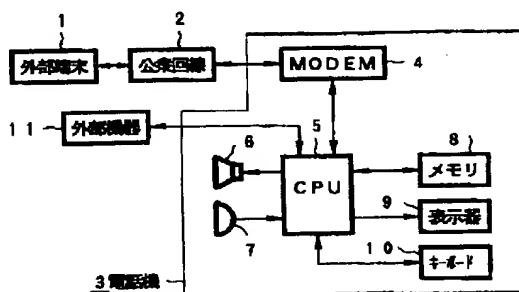
【図2】装置の他の例を示すブロック線図である。

【図3】装置の更に他の例を示すブロック線図である。

【符号の説明】

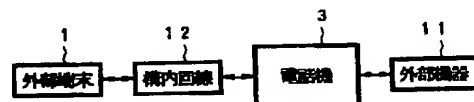
1 外部端末、2 公衆回線、3 電話機、4 モデム、5 CPU、6 スピーカ、7 マイク、8 メモリ、9 表示器、10 キーボード、11 外部機器、12 構内回線。

【図1】



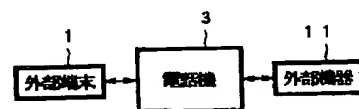
情報データの記憶方法を適用した装置

【図2】



情報データの記憶方法を適用した装置

【図3】



情報データの記憶方法を適用した装置